

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費
事業	大 0142 新中学校建設事業 (簡略番号：033776)	中		細	
事業期間	平26. 4. 1～平27. 3. 31	新規・継続	新規	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教一中学校費		

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 少子化による生徒数の減少、校舎の老朽化を背景に、町立中学校2校の統廃合に向けては、中学校統廃合検討委員会から平成24年3月に「新しい校舎並びに付属施設を建設する」という最終意見をいただいた。25年5月から11月にかけて広く保護者の皆さんや町民の方々との意見交換を行い、その結果、議会からも統合し新しい場所に新設するという一定の合意をいただくことができた。
 新設場所については精査検討を繰り返し候補地を選定、26年1月に作成した「新中学校建設事業基本構想」に掲げ、それをもって2月には、再度、地域ごとに「町長と語る会」を開催、とくに候補地についてのさまざまな意見を伺ったところである。
 平成26年度は、新中学校建設に向けた本格的な事業着手の年であり、関係者のご理解をいただきながら用地取得等を始め一部造成工事にも取り掛かる計画である。
 同時に、生徒や保護者、地域が一体となって新しい学校づくりに向けた取り組みが進められるよう、親睦や交流などを含めた機会が積極的に設けられるよう支援していく。
- 根拠法令
 教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、町立小中学校管理規則等
- 用地の状況
 学校敷地の用地買収が必要。
- 基本計画との関連
 【第2次総合計画】次代を担う心豊かな人が育つまちづくり（学校教育の充実）
- 本年度の計画効果
 全体の事業計画は合併特例債が活用できる平成31年度までの6年間としているが、極力、短縮できるよう努力する。
 平成26年度は、全体スケジュールのとおり次年度以降の建設工事に向けて、校舎棟等の建設に至るまでの基本設計や用地取得などを行い、一部造成工事にも着手することから、必要経費を計上した。
- 財源の説明
 【合併特例債】359,000千円
 【繰入金】31,500千円
 【一般財源】7,899千円

所属	0101012600-0000 教育総務課				
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	398,399		398,399		
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債	359,000		359,000		
その他	31,500		31,500		
一般財源	7,899		7,899		

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 原材料費		
02 給料			17 公有財産購入費	340,000	340,000
03 職員手当等			18 備品購入費		
04 共済費			19 負担金、補助及び交付金		
05 災害補償費			20 扶助費		
06 恩給及び退職年金			21 貸付金		
07 貸金			22 補償、補填及び賠償金		
08 報償費			23 償還金、利子及び割引料		
09 旅費			24 投資及び出資金		
10 交際費			25 積立金		
11 需用費	300	300	26 寄附金		
12 役務費	270	270	27 公課費		
13 委託料	21,169	21,169	28 繰出金		
14 使用料及び賃借料			予備費		
15 工事請負費	36,660	36,660	合計	398,399	398,399

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	17020801001	地域の元気臨時市町村交付金基	31,500	
地方債	20010701002	合併特例事業債(新中学校建設)	359,000	

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		